業 務 委 託 仕 様 書

1. 業務名

令和7年度 農業・農村むら機能活性化支援事業業務委託

2. 業務目的

本業務は、住民が主体となって実施する集落点検を通じて課題を抽出し、住民の合意に基づいて地域の将来計画を策定するとともに、策定された将来計画に基づき、活動開始に向けた取組の支援を行うことを目的とする。

3. 業務内容

実施地区において、将来計画を策定するものとし、策定に当たっては、ワークショップ（住民での話し合い）を必須とし、以下の項目について、効果的な方法で実施すること。

- ・住民の話し合いが円滑にかつ効果的に実施されるようにファシリテーターの役割を担うこと。
- ・地域外部(受注者等)が考える課題ではなく、住民意識に基づく集落内部の課題を抽出すること。
- ・地域住民が主体的に取り組めるようワークショップを進行すること。
- ・住民の合意形成を行った実効性のある将来計画とすること。
- ・事業実施後においても地域住民が将来計画に基づく活動に主体的に取り組めるよう、地域内のリーダー候補者への働きかけや活動内容の具体化等を行い、活動開始に向けた支援を行うこと。

○実施地区：紀の川市神戸地区

○実施予定時期：令和7年10月～令和8年3月

なお、実施地区との調整により実施予定時期に変更が生じることがある。

○作業項目

①事前打ち合わせ

- ・業務実施方法及び実施スケジュールについて打ち合わせを行う。

②事前調査

- ・将来計画の策定を見据え、地域資源や地域課題に関する現地調査を実施し、集落住民の意見を引き出すために必要な情報を収集する。

③ワークショップの実施

- ・課題の抽出及び住民の合意に基づく将来計画を策定するためのワークショップを3回実施する。
- ・策定された将来計画に基づき、活動開始に向けたワークショップを1回実施する。

④事後打ち合わせ

- ・本年度の成果について打ち合わせを行う。

⑤成果品とりまとめ

- ・下記「6. 委託業務成果品について」に基づき、成果品を作成する。

提出部数：委託事業報告書2部 及び 電子データ2部

4. 業務期間

契約締結日の翌日から令和8年3月24日まで

5. 業務計画の提出

契約締結後、速やかに委託業務計画書（別記第1号様式）を提出するものとする。

6. 委託業務成果品について

- ・住民の話合いにより策定した将来計画及びその過程については、住民の話合い終了後速やかに電子データにより提出すること。
- ・委託業務終了時に委託業務結果報告書（別記第2号様式）を作成し、契約期間終了までに報告を行うこと。また、成果品については規定部数を提出すること。

7. その他

本仕様書に定めのない内容事項が生じた場合、県と協議し決定すること。

別記様式第1号

番 号
年 月 日

和歌山県知事 宮崎 泉 様

受託者 住 所
名 称
代表者名

委託業務計画書

年 月 日付け契約の委託業務計画書を業務委託仕様書5の規定に基づき、下記のとおり提出します。

業務の内容

(1) 作成方針

(2) 業務実施工程表

(3) 担当者

番 号
年 月 日

和歌山県知事 宮 崎 泉 様

受託者 住 所
名 称
代表者名

委託業務結果報告書

年 月 日付け契約の実績を業務委託仕様書6の規定に基づき、下記のとおり報告します。

業務実施の内容

(1) 成果

(2) 業務実施期間

令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

(3) 担当者

(4) 成果品等